

朝鮮民主主義人民共和国の創建（1948年9月9日）と 今日の国際舞台におけるその役割

ラテンアメリカ・チュチェ思想研究所副理事長
ベネズエラ・チュチェ思想研究所所長
オマール・ロペス

この機会にわれわれは朝鮮の歴史の中に入って朝鮮民主主義人民共和国の創建とその背後の事由、そして朝鮮が歳月とともにどのように変化してきたかについて研究しようと思います。また、朝鮮が帝国主義に反対する闘争で現在果たしている役割についても調査しようと思います。

朝鮮民主主義人民共和国は1948年9月9日創建されました。朝鮮は共和国の最初の主席となった金日成主席の指導のもとに社会主義国家として樹立されました。

朝鮮民主主義人民共和国の創建はさまざまな歴史のおよび政治的要因の結果でした。第2次世界大戦以後、朝鮮半島は二つの地帯、つまり北半部とアメリカの影響力のもとにあった南半部に二分されるようになりました。こうした緊張の中で1948年に北朝鮮で全人民的な選挙が行われ、共和国中央政府が樹立されました。

創建の過程は社会主義に基づいた政治体制の樹立を伴いました。

金日成主席の指導のもとに民族自存と政治的自主を強調するチュチェ思想が具現された政治体制が確立されました。1948年の憲法は北朝鮮労働党を政権党にする唯一の党の体系を樹立しました。

今日の世界で朝鮮民主主義人民共和国の役割

朝鮮民主主義人民共和国は反帝立場と核政策によって国際舞台で特出した役割を果たしています。朝鮮は自衛の政策を堅持し、外国の列強が自国の自主権に干渉することに反対しました。

歳月とともに朝鮮民主主義人民共和国は核および弾道ミサイルの計画を推進しましたが、これは潜在的な緊張と紛争による国際社会の憂慮をかもし出しました。しかし、朝鮮政府はこれらの措置は自国が感じる脅威に対処して安全を保護するために必要であると論証し、反帝立場をもった民族間との密接な関係を維持しました。またこの連携は朝鮮の外交戦略の必須的部分であり、国際関係に影響を与えました。

今日の世界で朝鮮民主主義人民共和国はより多極化される全地球的範囲で重要な役割を遂行しています。核およびミサイル計画によって国際制裁の対象にはなりましたが、

朝鮮は反帝立場と世界秩序にたいする見解をともにする多くの国々と外交関係および同盟を維持してきました。続けて、現在朝鮮民主主義人民共和国の主要同盟国の中の一部について研究してみましょう。

中国は朝鮮民主主義人民共和国の主要同盟国であり、経済同僚です。

両国は地上国境を接しており、近い関係の長い歴史をもっています。中国は朝鮮に外交的、経済的およびエネルギー援助を提供し、朝鮮のもっとも大きな商業伴侶です。また中国は取引に参加し、地域の安定を図りながら朝鮮半島で緊張を緩和するための努力を傾注しました。

ロシアもこの国と密接な関係を維持しました。この関係が中国との関係のように強固ではないにしても、ロシアは朝鮮に経済的およびエネルギー援助を提供しました。両国は経済的および商業的連携を強化する方途を探し、ハイレベルの外交的交流を実現しました。

同様に、イランと核およびミサイル技術のような問題における協力関係を維持しました。両国はそれぞれ核計画によって国際的な制裁の対象となりました。両国間の特殊な関係が具体的には知られていませんが、国防分野で技術的交流と協力を実現したと知られています。

また、数十年間、シリアとも緊密な関係を維持しています。両国は反帝立場を同じくしており、国防と軍事技術などの分野で協力しました。

これらの関係が停止状態におらず、政治情勢と変化される戦略的利益によって変わることもありうるということを強調するのが重要です。

また反帝立場とより多極化された世界を願う各国との関係を結ぶ方途を求めています。

ラテンアメリカ諸国との関係についていうならば、歴史的に一部の制限された連携がありました。またラテンアメリカ諸国と外交関係を維持し、商業と技術協力の分野での連携を強化する道を探りました。

続けて朝鮮が関係をもったラテンアメリカの一部の国々について言及しようと思います。

キューバは数十年間、朝鮮民主主義人民共和国と近い外交関係を維持しました。両国は反帝的な見解をともにしており、教育、保健医療と技術協力の分野で協力し、文化およびスポーツ交流を行いました。

朝鮮民主主義人民共和国はベネズエラと特に逝去したウゴ・チャベス大統領時代に外交関係を維持しました。商業的交流が行われ、エネルギーと技術などの分野で協力関係をもったことについて知られました。

メキシコと機械および化学製品の分野で高い水準の商業的交流を行い、今日の政治的変化はその関係の改善を予言してくれます。

ラテンアメリカ諸国との関係が政治的変化と戦略的利益によって時間が経つに連れて変化、発展しうるということを強調するのが重要です。これらの関係は常にヤンキーの支援を受ける勢力の制裁の影響を受けることができます。実例に、ブラジルとはボルソナル政府にも関わらず、外交関係を維持しましたが、ルラ政府とこの政府がブリックスで果たす基本役割によって外交関係が拡大されるものと期待されます。ペルーの場合も同じですが、カスティルヨ進歩的政府との関係が好ましく維持されましたが、現政治情勢によって停止されたように思われます。

朝鮮の指導力が帝国主義とその手先どもの脅威の中でも朝鮮民主主義人民共和国を社会主義強国、核強国に浮上させた金正日総書記と金正恩総書記の教えと指導によって維持されたことを補足する必要があります。1948年9月9日には強国建設が一つの夢であり、希望であったとすれば、今日2023年には現実であり、世界の多くの人民の地平線です。